

## 令和3年度 学校評価結果のお知らせ

### 1 評価者

(1) 生徒 (2) 保護者 (3) 地域の代表者 (4) 本校職員

### 2 期間

令和3年12月14日(火)～ 令和3年12月23日(木)

### 3 目的

- ・学校の重点目標について、その達成状況や取組の適切さなどを評価し、学校運営の改善に資する。
- ・自己評価及び学校関係者による評価の実施・公表により、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

### 4 方法

質問紙による4段階評価

### 5 内容及び結果

	内 容	生徒	保護者	地域	教職員
学校	学校の指導方針は共感でき、特色ある教育活に満足している。	3.5	3.5	3.6	3.6
子ども	子どもは、好ましい友達関係があり、楽しく校している。	3.5	3.3	3.8	3.1
教師	先生は、子どもをよく理解し、授業が分かりやすい。	3.8	3.5	3.5	3.1
人権教育	学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている。	3.7	3.4	3.3	3.3
施設設備	学校は、安全に気を配り環境が整っている。	3.5	3.8	3.7	3.6

## 6 自由記述によるご意見

- ・生徒も先生も校外活動に積極的に参加することが大切だと思います。生徒数の減少が消極的な取組につながりにならないようにしてほしい。
- ・宇久中の生徒さんと一緒に行った調理実習はたいへんよかったです。お礼の手紙もたいへんうれしかったです。先生方の指導の一端かと思えます。
- ・授業参観などの機会がなく評価することが難しい。
- ・駅伝大会における生徒の力走、「一生懸命」の素晴らしさを感じさせていただきました。
- ・回覧板をとおして学校通信を楽しみに拝読しております。生徒の様子が見えるコーナーがあるといいなあと思います。
- ・子どもも地域もよく挨拶をする相乗効果が出ていると思う。前期に比べて後期の成長ぶりが顕著にうかがえる。やさしさや相手を思いやる気持ち、自分を見つめよくなろうとする向上心が育っている。

## 7 考察

「先生はわかりやすい授業をしている」に対し、生徒評価は「3.8」、保護者評価は「3.7」といずれもたいへん高くなっている。これは今年度導入された1人1台端末に伴い、授業改善が進んだ効果だと考えられる。「子どもは楽しく登校している」に対しては、地域評価が「3.9」生徒評価が前期「3.2」から後期「3.5」と0.3ポイント上がっているものの、保護者評価は前期「3.7」から後期「3.3」と0.4ポイント下げている。これは学校で見せる生徒の様子と家庭で見せる様子の違いから生じているものと考えられる。この結果を受け、生徒の気持ちに寄り添い、本音を語るような環境を整えていくことを全職員で再認識した。